

日本心血管理学療法学会 「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No. 40

調査者	織田 恵子、齊藤 正和
情報ソースの刊行日	2020年4月2日
情報ソースの調査日	2020年5月10日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月16日
日本語タイトル	COVID-19 中に在宅ベース心リハが患者を安全・健康に保つ 6つの方法
情報ソース	Malloy, T. "Six ways home-based cardiac rehab keeps patients safe, healthy during COVID-19." Mayo Clinic News Network.
情報のカテゴリー	回復期の心リハ、生活期の心リハ、包括的心リハ
発信地域	北アメリカ (アメリカ合衆国)
DOI	なし
URL	https://newsnetwork.mayoclinic.org/discussion/six-ways-home-based-cardiac-rehab-keeps-patients-safe-healthy-during-covid-19/
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来、回復期の心リハはセンター・医療機関ベースが一般的である。 ・ ソーシャルディスタンシングが感染予防に必要となる中、従来の心リハを実施するのは困難となっている。 ・ 在宅ベースの心リハのメリットは以下の6つ。 ・ 在宅ベースの心リハでは、患者が来院する必要がなく、医療機関は COVID-19 を含めた他の患者の治療に専念できる。 ・ リハビリ中もソーシャルディスタンシングを継続可能。 ・ 外出自粛により外食する機会も減ることにより自宅で健康的な食生活を推奨しやすい。 ・ リハビリにより精神・情緒的にも健康維持できる。 ・ 自宅でも心リハを継続することにより禁煙継続を促せる。 ・ 在宅ベース心リハでも必要な支援を受けられる。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来院困難であっても、心リハを継続する必要性が挙げられており、在宅ベースの心リハの重要性が高まっている。